

# O.S.P



VOL.23  
April

{ OSPREY / SPIRITUAL / PERFORMER }

無料

ご自由にお取りください

## A man named *Koudai Hayashi.*

O.S.Pプロスタッフの知られざる素顔をご紹介します。  
第一回は野尻湖でガイドを行っている、**林晃大!!**



新企画!!

O.S.P  
動画

...▼...  
随時  
更新!!

O.S.Pプロスタッフが  
ホームレイクを徹底紙上ガイド

### The Field Guide

～竹内一浩@長門川・将監川～

O.S.Pプロスタッフが  
シーズナルパターンをもとに  
おすすめのルアーをご紹介します!

### Pro Staff's RECOMMEND

五三川 / 青山右京



折金一樹が釣れる秘密を暴露します!

## オリキン ハイクール

第5講 表層ハードベイトフィネス

並木敏成&O.S.Pの  
最新情報はこちら。

並木敏成↓



O.S.P ↓



# Journal



## 1 限目 4月のバスはどう動くのか?

**温かい雨や大潮などのタイミングでバスをはじめさまざまな生物が動き出す**

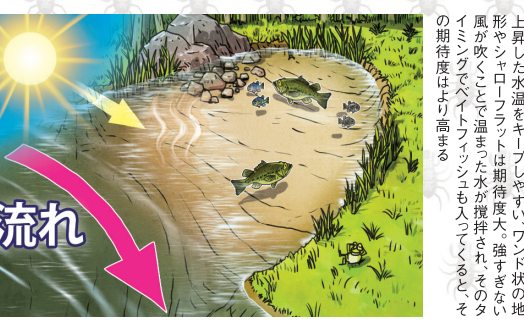
水の中は、果たしてどこを機に春に変わるのか。わかりやすいのはバスがエサをとりやすい場所にポジションを移したとき。スポーニングエリアを意識した場所に溜まりだしたとき。そして何より、浅いところで見えバスが確認できたとき。これらがわかりやすい「春到来」の合図だと思います。温かい雨や大潮などのタイミングで、バスに限らずすべての生物が動き出す。バスにとってエサとなる甲殻類や小魚などの活動が活発化します。当然、それを捕食しようとバスも動くわけですが、ただし三寒四温という言葉があるように、突然、冷え込むこともあります。そうすると昨日まで食べていたバスが、まったく食わなくなることも珍しくありません。そこはなかなか、アングラーの技術でどうこうなる問題じゃないですね…



## 2 限目 どこで釣りを展開すべきなのか?

**いい条件を「よりいい条件」にしてくれるそんなエリアを的確に見極めることが重要**

「ここ!」という明確なエリアはありません、そのときどきで、変わってきます。例えば晴れて温かい日が続くと、水温が上がります。そんなとき、水の動きがある場所、例えば岩盤エリアなら水深があつて流れも当たるので、その状態を保持できません。しかし、水の動きが少ないワンドやシャローフラットであれば、温かい水をキープし続けられます。そこで風によって温まった水がかき混ぜられて、そのタイミングでベイトが入ってくると、バスも捕食しやすくなります。雨が降った瞬間であれば、バックウォーターよりも規模が小さい流れ込みのほうが早く流れができてエサが流されてきます。ただし、その流れ込みも普段は水が溜れているような小さなものよりは、多少、大きいほうが望ましい。このように、いい条件の中でさらによくする要素を兼ね備えているエリアを見極める目が重要です。



## 3 限目 オーバーリアル63ウェイク。

**エサを食いたがっているバスがいることそして水がきれいなエリアでの確率高し**

オーバーリアル63ウェイクが活きるのは、バスにとってのエサがいて、それを意識しているとき。エサについて動いている、もしくは追っているなどが条件になります。その場でボイルしていなくても、その直前まで追っていた気配があればOKです。ただ巻きで使っても、ときにデッドスティッキングで使ってもいい。デッドスティッキングでは、見えない水深から浮いてきて食うことがあります。透明度が高ければ、その傾向は顕著。意識すべきなのは、バスがエサを食う場所へアプローチすることです。岩盤やブッシュの際など、バスがエサを追い込んだと思わせる場所へプレゼンテーションすると食わせやすい。だからできるだけ、タイトにキャストすることが要求されます。バスにとって「食えそう」と思わせるアプローチ。これが重要です。



## 4 限目 i-Waverをどう使い分けるのか。

**オーバーリアル63ウェイクとは質が違う動きでバスの反応をうかがってみる**

オーバーリアル63ウェイクとi-Waver74の使い分けですが、これは似て非なるモノです。オーバーリアル63ウェイクはしっかり動きませんが、対するi-Waver74はまったく動かないと言っても過言ではありません。どっちが好きなのかは、そのときいるバスに聞いてみることです。使い方としては水面に置いておく(Fの場合)、もしくはゆっくり動かす。動きの少ないものが音もなく忍び寄ってくることで、バスの興味を強く惹けます。瀕死、もしくは死んでしまったワカサギも、そんな動きをしますよね。バスのスイッチが入っていないときは、過剰な刺激を与えずに寄せることもできます。またトウイチなどで大きく動かすのではなく、軽く波紋を出す程度が効果的。活性で使い分けるのもひとつの手ですね。



## 5 限目 ベントミノーの場合。

**追われているベイトフィッシュを演出することができるボイル専用機**

この時期に表層で使うアイテムの最後は、ベントミノー。自分の中ではボイル専用機と位置づけています。先に挙げた2つもボイル撃ちに使いますが、これはスピードを出して追われている小魚を演出するのが強み。飛距離は出るし、何よりトリッキーなアクションで誘えるのがいいですね。またキャストしたあと、ボイルしている場所に距離を合わせようと巻いてきますよね。そこでも予測不能なアクションでバスに警戒させることがあります。ボイルシーンに対して、より釣れる要素が秀でているのはこの3つの中ではベントミノーにほかなりません。

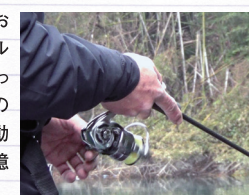


### 特別講座1 オリキンが密かに気をつけている重要事項をここで学ぶ!!

#### 春の表層ゲームの注意点

**どうすればどう動くのかその感覚をしっかり掴むこと**

ルアーが小さくて軽いので、意図した動きを出すのが難しいと思います。なので実践前に、まずはちよい投げでロッドアクションをどうやればどう動くか、ラインスラックの加減によって動きがどう変わるか、などの感覚を掴んでおくことが大事です。オーバーリアル63ウェイクでは、投げた距離によってロッドの角度やラインスラックの張り具合を変えないと、理想的な動きが出にくい。あとはキャスト。臆することなく、狙った場所へ的確に!

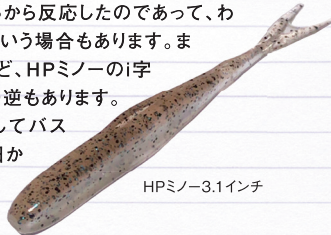


### 特別講座2 オリキンが密かに気をつけている重要事項をここで学ぶ!!

#### フォローのソフトベイト

**見に来るだけで食い切らないそんなときはソフトベイト!?**

フォローを入れるべきかどうか、そのタイミングは難しいところではありますが、やはりソフトベイトにしか食わないバスがいるのは事実です。しかし、表層にあるから反応したのであって、わずかで沈むと食わないという場合もあります。また、i-Waverは見切るけれど、HPミノーのi字引きなら食う。もちろんその逆もあります。同じアプローチを繰り返してバスを飽きさせてしまうなら、細かなローテーションを試して反応を見ましょう。



HPミノー-3.1インチ



## シャローカバー攻略パターン

カバー撃ちにはO.S.Pジグゼロワンの5〜7gを使用。ウエイトを軽くて、プレッシャーが掛かったシビアな魚でも口を使いやすくしています。また中層でもフワフワとアピールさせたいので5〜7gをチョイス。ローライトや雨などの時はキラールゴールド。日中や水に馴染ませたいときは、グリーンパンクンブルーフレックとブルーギル。この3色がおススメです。トレーラーはドライブクロー3インチ。ジグとの一体感があり、ドライブクローの特徴でもあるツメがアピール。バスが食いやすいひと口サイズになるのも、フェイスバリエーションである理由のひとつです。左右の逆手はすべてカットすることで、ラバーのフレアを邪魔しません。



ブレイクからシャローまで幅広く探ることが攻略のカギ!

## ギル食い&エビ食いバスパターン

五三川にはブルーギルも多く、それを捕食しているバスも少なくありません。またエビなどの甲殻類もメインベイトのひとつ。それらを捕食しているバスを狙うには、ドライブカーリーが最適です。基本はネコリグで使用。ウエイトは1/64〜1/13オンスのネイルシンカーを選びます。ハイプレッシャー時は軽め、風の影響を受けてボトムを感じづらいときやリアクションバイトを誘うときは重めに。フォールスピードを速くし、カーリーテールが「ピロピロ」っと動いてくれる

ので、フォール中のバイトが多いです。もちろん軽いウエイトでも、ツイントールがしっかり水を噛んで動いてくれます! カバーまわりはもちろん護岸などの足を撃っていくことも大事。丁寧に探って、何かにスタックしたら優しくシェイクしながらほぐしてやると、外れた瞬間にバイトしてくることも少なくありません。



グリーンパンクンブルーフレック



ブルーギル

キラールゴールド

晴れ&バスに違和感を与えない



ゴーストシュリンプ

ワカサギ

## シャローカバー攻略パターン

広範囲に巻いて探るときはハイビッチャー。よく使っているメインは5/16オンスです。1/4オンスだと風が強いときにキャストが決まらないことがストレスになります。また、中層を引きたいのでボクは5/16オンスをおススメします。カバーに対してナメるように巻いてきたり、バスの少し上の視線を引いてくるイメージで少し速く巻いて、ブレードのフラッシングを生かしリアクションバイトを狙います。カラーのおススメは白系。ヴィヴィッドパールホワイトの実績が高いですね。



ヴィヴィッドパールホワイト



ローライト&アピールカアツプ

マッドネオンギル

ブルーバックシナモン



青山右京

Field

岐阜県  
五三川

# Pro Staff's

O.S.Pプロスタッフがおすすめる、この時期に外せないルアー

# RECOMMEND

そのフィールドに精通するO.S.Pプロスタッフが、シーズンパターンをもとに必携のルアーをご紹介します。これさえ持っていれば、確実にバスは釣れる!!

スポーニングに向けてエサを食う  
フィーディングの個体を狙い撃ち

4月に入ると水温は10〜15℃ぐらい。バスはスポーニングを意識しはじめます。産卵に向けて活発にエサを捕食しはじめ、狙うスポットはブレイクラインやシャローエリアなど。早春は天候や水温の変動でバスのポジションが上下動するので、反応がなければ冬に釣れていたエリアなどもチェックして、季節の進

行具合を再確認してみましょう。そして朝夕のフィーディングの個体。どこのフィールドでも共通ですが、インレットにはベイトが集まり、それをバスが捕食しに入ってきます。また風や流れてシャローに遊泳力のないベイトが流される場所も、バスが供給されやすいので巻き物などでサーチするのも効果的です。



全国で活躍を見せる全45名のO.S.Pプロスタッフ。  
彼らが今日にいたるまで、歩んできた道を振り返る――

A man named

# Koudai Hayashi.

釣武両道で歩んできた学生時代。



## 林 晃大

Koudai Hayashi

### 【主な戦績】

- 2017年 チャプター長野・野尻湖 年間1位
- 2016年 チャプターチャンピオンシップ東日本決勝 優勝(高滝湖)
- 2016年 チャプター長野・野尻湖 第5戦 優勝
- 2015年 チャプター中部・信越ブロック チャンピオンシップ 優勝(野尻湖)
- 2012年 JB河口湖B第1戦 優勝  
ほか、上位入賞多数

### クラブ活動と釣りを両立 スポーツテストでは学年1位に

1989年8月。山口県に生を受けた林晃大。小学校1年生の頃、当時、少年アングラーの胸をときめかせた釣りアニメ「グラnder 武蔵」の影響を受けたことをきっかけに、釣りをはじめた。しかし振り返ってみるとブームに流されただけ。数年は釣りで盛り上がったものの、いつしか心は離れていった。「はじめてのバスは、エサで釣ったブルーギルをエサにして釣りました。ルアーで釣るまで、3年ぐらいかかりましたね」

しかし中学に入ると、きっかけは不明瞭だが釣り熱が再燃。地元のリザーバーや野池に足繁く通っていた。同時に、クラブ活動にも勤しんだ。入部したのはバドミントン部。熱を入れて打ち込んだ結果、山口県の団体戦で優勝。個人戦では県3位に入るといふ輝かしい成績を残した。

また、釣りへの情熱も冷めることがなかった。部活動がない日は朝4時に家を出て、自転車でフィールドへ一目散。部活動と釣り。文武両道ならぬ、釣武両道の毎日を過ごしたという。

「このころ、確か地元の釣具店主催のおかつぱり大会に出場しました。結果は準優勝。悔しさはもちろんありましたが、大会の中での緊張感やワクワク感はたまらなかったですね」



テレビアニメの影響を受けてはじめて、バスフィッシング。自宅近所の野池やリザーバーなどで、もっぱらおかつぱりに勤しんだ小学生時代

はじめて釣りの大会に出て、他のアングラーと腕を競った。そして自分の釣りのスキルやレベルがどれほどのものなかを肌で感じ取ることができた。この独特の空気感に、この時点ですでにやみつきになりつつあった。



ブームが去ると同時に心が離れたバスフィッシングだったが、中学生になると熱が再燃。このころ、はじめて釣りの大会にも出場した

中学でのバドミントンの功績が認められて進学した高校でも、釣りへの熱が冷めることはなかった。強化指定校になるほどの強豪高校ではあったが、隙を見つけては釣りへ。休日も部活動はあるものの、練習時間はせいぜい半日。残りの半日は欠かさず、釣りに費やした。「このころから、自分は将来、バスプロになるのだと決めていました」という林。高校卒業と同時に拠点を福岡へ。釣り業界で生きていくと決意し、ヒューマンアカデミー・フィッシングカレッジ福岡校へと進んだ。

2年間の専門学校生活で、最も印象に残っているのは実習の授業。佐賀県北山湖での実習はパターンフィッシングを、身をもって学ぶことができたという。また、現役バスプロの講師が「バスを釣るために何を考えているのか」を説いてくれた。さまざまな視点から物事を見て、それを釣果につなげていく。その考え方に感銘を受けた、とも。

### 夢の舞台に立てたのは2年 今の目標はTOP50への再挑戦

フィッシングカレッジ在校中に掲げた目標は「JB TOP50 プロシリーズに参戦すること」。卒業後はその目標に向かって、ひたむきに釣りに打ち込んだ。卒業直後は福岡に残り、JB九州に参戦。その後、河口湖、高滝湖と拠点を移し、2013年にはJBマスターズプロシリーズで年間5位に。ここでTOP50



野尻湖の魅力はたくさんある。スモールマウスバスのパターンフィッシングはもちろん、ほかの湖にないロケーションもそのひとつ

への参戦権を獲得。2014年には念願の舞台に立った。「当時、ガイドで生計を立てていたのですが資金繰りがすごくキツかった。初年度はがむしゃらにやれたんですけど、2年目にボートを買って、でもそのエンジンが壊れて… 資金の工面ができなくなり、満足に練習もできず、気持ちが切れてしまいました……」

わずか2年で、夢の舞台から降りざるを得なくなった林。しかしこのTOP50の会場であった野尻湖でボート店の方に声をかけていただいたのをきっかけに、拠点を移動。今では年間100日以上、ゲストを自分のボートに乗せて、野尻湖の魅力を存分に味わってもらっているという。

「いろんなところで釣りをしてきましたが、こんなに素晴らしいロケーションを持つ湖はありません。お客さんからも湖に出るだけで癒やされる、という声をよく耳にします。棧橋に船を係留してランチ。これも野尻湖ならではの楽しみではないでしょうか。もちろん、スモールマウスの釣りも楽しい。山口にいるころは、スモールマウスは幻のサカナでしたけど、独特のあの引きは完全にやみつきですね。何より、パターンフィッシングのおもしろ



野尻湖が禁漁期間中は山口県に戻り、釣りの感性を磨く毎日。自身で撮影した動画をFacebookで公開しており、そちらも注目!

ろさ。正解にたどり着くと、一投目で釣れたり、入れ食いになることも珍しくありません。本当に野尻湖に出会ってよかったと思います」

また、この湖は漁協によってしっかり管理されていることも、野尻湖の魅力を引き立てている理由のひとつと言う。湖に出ることができる時間や禁漁期間が設けられ、フィールドとサカナが守られている。これもまた、気持ちよく釣りができる環境作りだと林は語る。

そんな林が得意としているのは「シャッドキャロ」。3年ほど前、荒れた状況下で深いところにワームを入れても、バスは気づかないのではないかと思い、試してみたのがきっかけ。そこでもパターンにハマり、答えはすぐに返ってきたという。しかし一過性のものにしかたはなかったという林。その後もシャッドを用いたキャロライナリグでさまざまな試行錯誤を繰り返し、ようやく、そのスタイルが確立できたという。「この釣りを習得したらすごい武器になると思う、ラインやリグり方など、いろいろ試しました。ようやく、今のカタチが完成したといったところですよ」

ほかにもミドストや虫パターン、i字系の釣りなど、得意とする釣りは多彩。もしこれら釣りを学んでみたいという方は、ぜひ林晃大のガイドを受けてみてほしい。

最後に、林晃大に今後の目標について聞いてみた。「ようやくガイドが軌道に乗り、資金繰りもできるようになりました。なのでここでもう一度、JB TOP50プロシリーズに挑戦したい。環境も結果もともなわず、あきらめてしまった道ですが、今なら再挑戦できそうな気がします。それが、当面の目標ですね」

とはいえ、ガイドのほうも手を抜くつもりは毛頭ない。常に質の高いガイドができるように定期的に休養日を設け、自身のマネジメントもぬかりなく行っている。体力がないと自負するかわら、その弱点克服のために、今オフは山歩きもはじめた。そんな林晃大の今後の活躍に、ぜひご注目いただきたい。

### TOSHI'S EYE

## 並木敏成が見た、林晃大というアングラー。

フィッシングフォームはときに美しい  
将来、確実にスターになる逸材である

林晃大君の生い立ちやバスフィッシング歴を見ても、バスプロとして業界を担っていくにふさわしい経歴であることがわかる。そんな晃大君とは、

数年前に高滝湖や津久井湖で一緒に釣りをしたことがある。その頃から見ると、確実にレベルアップしているね。長身から繰り出されるさまざまなフィッシングフォームはときに、美しい。そして何より、野尻湖のチャプターで年間優勝をするなど、確実に結果も残している。今どきの若手アングラーにありがちなフィネスオンリーではなく、速い釣りや強い釣りまで身につけている。冬場は

地元、山口県のリザーバーでブリッツのクランキングやヴァルナのジャークなど、昨年末であまり目にしなかった幅広い動画をアップしているのも注目だ。まだまだ伸びしろはあるし、将来、スターになる逸材であることは間違いないだろう。ちなみに、自分もバドミントン部だった。といっても、ロッドを振る動作とバドミントンのフォームが似ているため、キャストの上達が目撃されたのだが…

今年の目標はTOP50への復帰すること。今年も、全力で戦いたい。できる環境を整いつつあると、もう一度はあきらめた夢に再挑戦!

A man named Koudai Hayashi. < No.1 >



# Field Guide

今回紹介するのは利根川の支流、長門川および将監川。レンタルボート店も多く、見た目に釣れそうなシチュエーションが多様なこともあり、たくさんの方で賑わうフィールドだ。利根川、および印旛沼からの流れの影響を考慮した的確なエリア選びが釣果を上げるカギ!!

案内人はこの人  
たけうちかずひろ  
竹内一浩

利根川を舞台に開催されているTBCトーナメントに参戦中。シャローカバーの釣りが得意で、これを武器にA.O.Y.や2016年にはTBCクラシックを制するなど、輝かしい実績を多数、残している。また定期的に仲間が集まって釣りをし、その日の答え合わせをするなど、釣りへの鍛錬を怠らないという一面も持ち合わせている。



《長門川・将監川おすすめルアー①》  
クランクベイト各種

スナッグレス性能の高さから、リップラップやレイダウンなどを狙う際に使用するのがブリッツ。これがメイン。水深があるエリアではタイニーブリッツMR。急深になっているところも少なくないため、エリアに応じて使い分ける。HPFクランクSPEC2はブリッツ系と動きの違いで使い分けている。HPFのほうがブリッツに比べて動きはタイト

### 春は赤いクランクベイト!!

この時期、エリアによってはクランクベイトを多用する竹内だが、中でもフェイバリットは赤。春の王道のカラーで、これまで50cmアップを含む同クラスを多数捕獲しているという。また水中のブランクが落ちて水質がクリアアップしてくる11月ごろも、よくこの系統のカラーを使用する、とのこと。



## スポーニングに向けて季節は進行 水が安定しているエリア選びが重要

例年、4月上旬で早い個体はすでにスポーニングを開始。中旬、および下旬にかけて、よりその進行度が上がっていくというのがこの時期のバスの動きだ。したがって、水が安定しているエリアを選ぶことが重要になる。このフィールドの特徴として、利根川からの水の流入や、上流に位置する印旛沼からの水の流入がある。水位の増減については雨の影響を受けない日でも10~20cmぐらい変動することも。こういった流れの影響を受けづらいエリアでの釣りを心掛けよう。

シャローカバーゲームを堪能できるフィールドです!!

「シャローカバーでも、水位の変動によって干上がってしまうため、見極めが大事。このフィールドには釣れそうと思えるカバーがたくさんあり、そのバリエーションもさまざま。オダや切り倒された竹、レイダウンなど、攻めがいがありますよ!」



### 12 将監川最上流部

#### 《長門川・将監川おすすめルアー②》 ハイビッチャーマックス

レイダウンや複雑なカバーが入っているところでは、ブリッツよりもさらにスナッグレス性能に長けるスピナーベイトの出番。メインで使用するのは3/8オンス、および1/2オンス。季節が進み、オーバーハングの奥に打ち込むようなときにはハイビッチャーをチョイス



#### 《長門川・将監川おすすめルアー③》 ドライブビーバー3.5インチ

リーダーレスダウンショットで使用。ジグと違って、ボトムの変化を捉えながらチェックしたいときはこれ。ロケ当日も、マンメイドストラクチャーに絡むボトムの沈みモノでキロフィッシュをキャッチした



### 8 将監川中流部

コンクリートブロックが水中に入っており、岬状に張り出しているエリア。水深があり、オダなども入っているためサカナのストックも見込まれる



### 12 将監川最上流部

地蔵橋より上流は全般的に水温が上がりやすい。またそこその雨量でも濁りにくいのが特徴。将監川は利根川の旧河川にあたり、水深2.5mほどの場所もあるためサカナをストックしやすい。安定感があるエリアと表しても過言ではない



### 8 将監川中流部

コンクリートブロックが水中に入っており、岬状に張り出しているエリア。水深があり、オダなども入っているためサカナのストックも見込まれる

### 9 旧・荒井ボート前

南面は流れが当たる場所。地蔵橋のところで川がボトルネック状になっており、タイダルによる水位のアップダウンがあると逆流してきた流れが巻く。ブレイクもはっきり出ており、こちらも忘れずチェック!

### 11 地蔵橋上流

流れ込みからの水でミオ筋が形成されておき、ブレイクが明確になっている。また杭や朽ちたへら台などもあるので、それらも忘れずに狙ってみよう



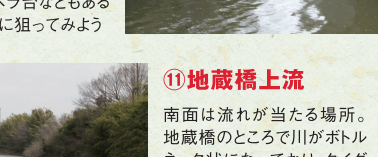
### 11 地蔵橋上流

流れ込みからの水でミオ筋が形成されておき、ブレイクが明確になっている。また杭や朽ちたへら台などもあるので、それらも忘れずに狙ってみよう



### 10 地蔵橋手前流れ込み

流れ込みからの水でミオ筋が形成されておき、ブレイクが明確になっている。また杭や朽ちたへら台などもあるので、それらも忘れずに狙ってみよう



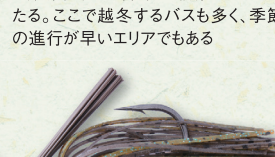
### 7 将監ボート前

水深があり、めりはりのあるブッシュが続く場所。竹を切り倒したレイダウンなどもあり、いかにも釣れそうなスポットが並ぶ。より複雑なカバーほど、バスがつく確率が高い



### 4 通称:船の家

長門川の中では、最もベンドがきついエリア。深いところでは水深3mほどあり、長門川で一番深い場所がここに当たる。ここで越冬するバスも多く、季節の進行が早いエリアでもある



### 《長門川・将監川おすすめルアー④》 O.S.Pジグ01・7g+ドライブクローラー4インチ

根掛することがほぼないので、シャローカバーをテンポよく打っていきという理由から、竹内のメインウエポンとして鎮座しているジグ。フォール主体で手返しよくチェック。バスが浮いているときはウエイトを下げる、もしくはトレーラーのサイズを変えてフォールスピードを調整

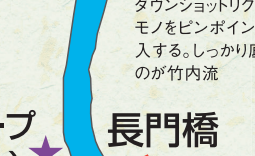


将監ボート周辺にはこのような複雑に絡み合うブッシュも多い。より混み入ったカバーほど、バスがついている確率が高いと心得よう

### ↑利根川へ

### 6 ふじみ橋周辺

《長門川・将監川おすすめルアー④》  
HPシャッドテール3.6インチ  
ダウンショットリグで使用。底にある沈みモノをピンポイントで狙いたいときに投入する。しっかり底をとって、丁寧に探るのが竹内流



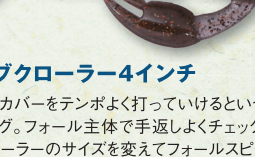
### 5 JR鉄橋周辺

このエリア内には写真のような水門や消波ブロックなど、バスが好んでつきそうなスポットが多数、点在している



### 3 長門川上流エリア

利根川から入ってくる水の影響を受けにくいのがこの辺り。川のインサイドとアウトサイドがはっきりと出ている。消波ブロックや流れ込みなど、バスが付きやすいスポットが比較的多いエリア



### 2 旧長門川入口付近

長門川および将監川では珍しい、アシエリア。水深が浅いため、水位が高いときに狙うのがオススメ。アシのエグレを狙っていくのが大前提。水位の増減、および水温の上昇に合わせて入り直してみると



### 6 ふじみ橋周辺

長門川の河口。下流に向かって右手にある機場が動いていなければ、逆ワンドとなる。水が安定しており、スポーニングに適した場所。沈船や流れ込みもあり、かつ利根川から入ってくるサカナもいるエリア



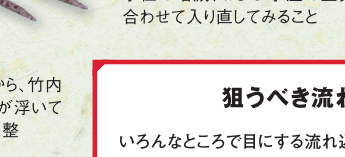
### 5 JR鉄橋周辺

JR成田線の鉄橋と長門橋の周辺。ここも比較的、水深がある。また橋脚などの変化も多いため見逃せない。写真上がJR成田線の鉄橋。下は長門橋



### 3 長門川上流エリア

利根川から入ってくる水の影響を受けにくいのがこの辺り。川のインサイドとアウトサイドがはっきりと出ている。消波ブロックや流れ込みなど、バスが付きやすいスポットが比較的多いエリア



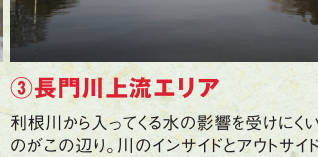
### 2 旧長門川入口付近

長門川および将監川では珍しい、アシエリア。水深が浅いため、水位が高いときに狙うのがオススメ。アシのエグレを狙っていくのが大前提。水位の増減、および水温の上昇に合わせて入り直してみると



### 5 JR鉄橋周辺

JR成田線の鉄橋と長門橋の周辺。ここも比較的、水深がある。また橋脚などの変化も多いため見逃せない。写真上がJR成田線の鉄橋。下は長門橋



### 3 長門川上流エリア

利根川から入ってくる水の影響を受けにくいのがこの辺り。川のインサイドとアウトサイドがはっきりと出ている。消波ブロックや流れ込みなど、バスが付きやすいスポットが比較的多いエリア



### 1 酒直水門周辺

水門のすぐ下流側に並ぶブッシュ群。張り出しが大きくてバンクまで奥行きがあるため流れを直接的に受けない。つまり水が安定しており、この時期は特にバスが付きやすい



### 1 酒直水門周辺

水門のすぐ下流側に並ぶブッシュ群。張り出しが大きくてバンクまで奥行きがあるため流れを直接的に受けない。つまり水が安定しており、この時期は特にバスが付きやすい



### 狙うべき流れ込みの条件とは…?

いろんなところで目にする流れ込み。しかしそのすべてがいいとは言えない。やはり常に水が流れているところはオススメ。そこから流されてくるエサを待ち構えているバスも多く、タイミングを変えて何度も入り直したほうがいい、と竹内は言う。また雨のあとで水量が増えたときも期待度大だ。

